平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年5月15日

上場会社名　株式会社 グランディーズ　　上場取引所　福
コード番号　3261　URL　http://grandes.jp
代表者　(役職名) 代表取締役　(氏名) 亀井　浩
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門担当　(氏名) 枇杷木　秀範　TEL 097-548-6700

四半期報告書提出予定日　平成25年5月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	311	―	57	―	57	―	35	―
24年12月期第1四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	34.02	32.92
24年12月期第1四半期	―	―

(注)当社は、当事業年度から四半期財務諸表を作成しておりますので、平成24年12月期第1四半期の記載および平成25年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第1四半期	671	293	43.8	284.96
24年12月期	761	258	34.0	250.95

(参考) 自己資本　25年12月期第1四半期　293百万円　24年12月期　258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年12月期	―				
25年12月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	550	―	60	―	57	―	35	―	33.95
通期	1,470	24.4	170	2.4	165	3.8	100	8.6	96.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	1,031,000 株	24年12月期	1,031,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	― 株	24年12月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	1,031,000 株	24年12月期1Q	757,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算短信補足説明資料の入手方法)

四半期決算短信補足説明資料は、平成25年5月15日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
第１四半期累計期間 …… 5
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6
（５）セグメント情報等 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、政策転換の効果により景気が徐々に持ち直しの動きを強め、景況感も改善してまいりました。海外景気の下ブレ懸念は依然として残るものの円安や株高がもたらす心理的効果は、企業の生産活動や個人の消費意欲を後押しし、景気の先行きに対する期待感を増幅しております。

住宅・マンション業界は、各種の政策効果がもたらす住宅需要の高まりから、首都圏のマンション販売が好調に推移するなど総じて好調裡に推移しました。大分地域でも新設住宅着工戸数が前年同時期を上回って高水準で推移するなど好環境が続きました。

このような環境下、当社は積極的な事業展開に努め、大分・別府地域における建売住宅販売のシェア拡大を図るとともに投資マンションおよび分譲マンションの早期販売に取り組みました。また、他県進出の準備を着実に進めてまいりました。

その結果、当第１四半期累計期間の売上高は311,159千円となりました。コア事業である建売住宅の販売戸数が計15戸と四半期ベースで過去最多となったことが寄与しました。

一方、当第１四半期累計期間の損益は、営業利益57,173千円、経常利益57,215千円、四半期純利益35,069千円となりました。

なお、当社は不動産販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

また、当社は第１四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期会計期間末における流動資産は661,250千円となり、前事業年度末に比べ91,569千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が72,946千円減少したことによるものであります。固定資産は10,173千円となり、前事業年度末に比べ1,350千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1,293千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、671,424千円となり、前事業年度末に比べ90,218千円減少いたしました。

（負債）

当第１四半期会計期間末における流動負債は218,868千円となり、前事業年度末に比べ120,358千円減少いたしました。これは主に短期借入金が84,000千円減少、未払法人税等が44,739千円減少、1年内返済予定の長期借入金が32,945千円減少したことによるものであります。固定負債は158,759千円となり前事業年度末に比べ4,929千円減少いたしました。これは主に長期借入金が6,054千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、377,627千円となり、前事業年度末に比べ125,288千円減少いたしました。

（純資産）

当第１四半期会計期間末における純資産合計は293,797千円となり、前事業年度末に比べ35,069千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益が35,069千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.8％（前事業年度末は34.0％）となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第１四半期累計期間においては、堅調な需要に支えられ、建売住宅販売が期初計画を上回って推移し、用地仕入れも順調に進みました。投資マンション販売も計画どおり進捗しており、分譲マンション販売については一棟売り契約を締結しました。また、財務基盤が強化されたことにより有利子負債が減少し、借入金利も低下傾向にあります。これらにより今後は、建売住宅等の順調な販売と売上確保が予測され、販売費および営業外費用についても期初計画をやや下回るものと見込まれます。反面、建設費については全体的に上昇懸念があり、他県進出に伴う費用も積極策を採る方針としたことにより膨らむ可能性があります。よって、平成25年２月14日に発表した業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	398,821	325,874
売掛金	－	217
販売用不動産	38,691	25,662
仕掛販売用不動産	295,771	304,048
未成工事支出金	8,144	－
その他	11,391	5,447
流動資産合計	752,819	661,250
固定資産		
有形固定資産	100	1,393
投資その他の資産	8,722	8,780
固定資産合計	8,823	10,173
資産合計	761,642	671,424
負債の部		
流動負債		
不動産事業未払金	40,790	66,527
工事未払金	4,556	197
短期借入金	96,000	12,000
1年内返済予定の長期借入金	105,681	72,736
未払法人税等	63,947	19,207
賞与引当金	－	2,202
その他	28,250	45,997
流動負債合計	339,226	218,868
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	113,319	107,265
その他	370	1,494
固定負債合計	163,689	158,759
負債合計	502,915	377,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,918	69,918
資本剰余金	59,888	59,888
利益剰余金	128,921	163,991
株主資本合計	258,727	293,797
純資産合計	258,727	293,797
負債純資産合計	761,642	671,424

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	当第１四半期累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	311,159
売上原価	219,783
売上総利益	91,375
販売費及び一般管理費	34,201
営業利益	57,173
営業外収益	
受取利息	30
受取手数料	1,150
その他	48
営業外収益合計	1,229
営業外費用	
支払利息	1,056
その他	130
営業外費用合計	1,187
経常利益	57,215
税引前四半期純利益	57,215
法人税、住民税及び事業税	19,213
法人税等調整額	2,932
法人税等合計	22,146
四半期純利益	35,069

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

（セグメント情報）

当第１四半期累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年３月31日）

当社は、不動産販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。